

高校生を対象に

いよいよ1月中旬から 新型インフルエンザの予防接種が始まります！

新型インフルエンザの感染者の多くは軽症のまま回復していますが、ごく一部に重症化している人がいます。新型インフルエンザワクチンの目的は、接種することで、新型インフルエンザに感染しても重症化しにくくすることにあります。



◆ 接種時期について

山口県では、高校生に相当する年齢の者（平成3年4月2日～平成6年4月1日に生まれた者）は、1月中旬頃から接種開始としています。

年齢確認のため、接種の際には、「各種健康保険被保険者証」、「学生証」又は「住民票」の提示が必要になります。



◆ 接種場所について

多くの内科・小児科・産婦人科等の医療機関で受けられます。どの医療機関の場合も、必ず事前に予約しておくことが必要です。

接種を行っていない医療機関もあります。実施医療機関については、お住まいの市町や保健センターへお問い合わせください。

◆ 接種回数について

中高生のワクチンの接種は、当面2回接種とされています。ただし、今後、臨床試験の結果を踏まえ、別途判断されます。

国産ワクチンは1～4週間の間隔で2回目を接種しますが、4週間程度が望ましいとされています。



◆ 接種費用について

接種は、全国一律で、1回目が3,600円、2回目が2,550円となっています。2回目を1回目と異なる医療機関で接種する場合、3,600円になります。

なお、所得の少ない世帯に対しては、費用負担の軽減制度がありますので、お住まいの市町の予防接種担当課へお問い合わせください。

◆ 副反応について

ワクチンの接種後には、接種部位が赤く腫れたり、痛みが数日続いたりすることがあります。ほとんどは軽い症状でおさまりますが、気になる症状が出たり、長引いたりする時は、医師に相談してください。

接種日は、入浴は可能ですが、激しい運動は避け、注射した部位は清潔にしておきます。



◆ すでに感染した場合、接種は必要か

新型インフルエンザに感染した人は、すでに免疫が獲得されていると考えられるため、ワクチン接種の必要はありません。

◆ 季節性インフルエンザワクチンを接種したが、効果はないのか

季節性インフルエンザのワクチンは、これまで通り、季節性のインフルエンザウィルスには有効ですが、今回の新型インフルエンザウィルスには有効ではないと考えられています。季節性と新型の両方のワクチンを接種する場合、6日以上間隔をあけることが望ましいとされています。

[山口県健康増進課HP・厚生労働省HPより引用]

本校で、インフルエンザに感染したという報告を受けているのは、
12月21日までで、

1年生：105人、 2年生：114人、 3年生：63人
となっています。

冬は、インフルエンザだけでなく、様々な感染症が流行しやすい時期です。「もうかかった」「予防接種を受けた」と油断するのではなく、日頃から、手洗い(消毒)・うがいを続け、感染症の予防に努めましょう。

